

総合地球環境学研究所 I S 及び F S 審査実施要領

平成24年 10月23日
所 長 裁 定

総合地球環境学研究所研究プロジェクト所内審査委員会規則第2条第1号から第3号までに規定する研究プロジェクト所内審査委員会（以下「PRT」という。）における I S 及び F S の審査（PR 候補の採択審査を含む）における審査に関し、次のとおり基本方針を定めるものとする。

（審査指針）

第一 I S 及び F S の採択審査における基本的な考え方は次のとおりとする。

I S 及び F S は、研究所の設立趣旨ならびに理念（基本計画）に沿った共同研究であることが必須である。すなわち研究所の基本認識に基づく、いわゆる地球環境問題に関わる何らかの明確かつ具体的な問題の解決に資する学問的かつ分野横断的な探究であって、かつ一定の研究期間後にはまとまったストーリーとして研究の成果とその意義を社会に提示できるような共同研究計画であることが必要である。

1) 連携 F S 及び連携研究プロジェクト

連携 F S 及び連携研究プロジェクトの採択においては、地球環境問題に関わる、独創的かつ新規性の高い研究計画であることを特に重視する。採択審査にあたっては、以下の項目について評価を行う。

- ・ 総合性・学際性・・・地球環境問題の解決を目指して既存の学問分野の枠組みを超えた総合的視点に立った研究となっているか。
- ・ 独創性・学術性・・・地球環境問題の根本的な解決に資する学問的基盤形成につながる、革新的な研究であるか。
- ・ 国際性・・・国際的な協力体制のもとに、中枢的な拠点となりうるか。
- ・ 社会的貢献・・・地球環境の危機を克服するための社会的要請への貢献が期待できるものであるか。
- ・ 実行可能性・・・研究計画は十分練られ、その進め方が着実に実行可能なものとなっているか。

なお、地球研の設定する領域プログラム及び未来設計イニシアティブへの貢献も考慮する。

2) 基幹 F S 及び基幹研究プロジェクト

基幹 F S 及び基幹研究プロジェクトの採択においては、これまでの地球研のプロジェクトの成果を新たなフレームで統合し、未来設計イニシアティブに沿った設計科学としての研究成果が見込まれる研究計画であることを特に重視する。採択審査にあたっては、以下の項目について評価を行う。

- ・ 統合性・・・これまでの地球研プロジェクトの成果（概念、方法論、研究ネットワーク等）をふまえ、新たなフレームでそれらを統合する研究となっているか。
- ・ 独創性・学術性・・・あるべき社会の提言を目指した設計科学的なアプローチによる独創的かつ高い学術性を有するものであるか。
- ・ 国際性・・・国際的な協力体制のもとに、中枢的な拠点となりうるか。
- ・ 社会的貢献・・・グローバルからローカルまで社会の多様なステークホルダーとの研究の co-design、co-production の要素を含み、未来可能な社会のあり方を提言するものであるか。
- ・ 実行可能性・・・研究計画は十分練られ、その進め方が着実に実行可能なものとなっているか。

(課題決定手続)

第二 IS, FS及びPR移行候補の採択審査は、総合地球環境学研究所研究プロジェクト実施細則第3条第1項及び第4項並びに第4条第1項、第2項及び第8項に基づき公開ヒアリングにより実施し、PRTの審査を経て連絡調整会議で採択課題を決定するものとする。なお、ISの採択については、書面審査を行い、申請者の資格及び研究内容の審査を行い、公開ヒアリングを行う研究課題を決定するものとする。

(その他)

第三 採択審査においては、PRT委員の評定のみならず、公開ヒアリングにおける所員の意見等を加味し、総合的に審査を行うものとする。

附 則

この要領は、平成23年1月25日から実施する。

附 則

この要領は、平成24年10月23日から実施する。